

# 令和元年6月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 令和元年6月26日(水) 9時00分から10時28分まで  
2. 会場 : 臼杵市役所 臼杵庁舎2階 203・204会議室  
3. 出席委員 : 教育長 齋藤 克己  
教育長職務代理者 垂井 美千代  
委員 渡辺 義弘  
委員 安東 雅幸  
委員 神田 岳委

## 4. 出席職員

教育次長兼教育総務課長	甲斐 尊	学校教育課長	後藤 徳一
社会教育課長	大戸 敏雄	文化・文化財課長	川野 徳明
学校給食課長	安東 信二	教育総務課総括課長代理	麻生 幸誠
学校教育課総括課長代理	瀧澤 愛	社会教育課総括課長代理	安藤 隆文
文化・文化財課総括課長代理	神田 高士		
教育総務課主査	米木 淳子	教育総務課主事	加藤由梨花

5. 傍聴人 木村 公治

## 1. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席者の報告を行います。本日、欠席者0名で、出席者が過半数に達しましたので、臼杵市教育委員会会議規則第3条の規定により本会は成立となりました。以上、報告いたします。

(教育長)

開会に先立ち、ここで事前に皆さんにお諮りいたします。本日の委員会について、1名の方から、会議を傍聴したいという申し出があります。傍聴に関しては、臼杵市教育委員会会議傍聴規則第2条の規定により、どなたでも教育長の許可を受ければ傍聴できることになっています。

傍聴は、教育長の許可制ですが、教育委員皆さんの了解があれば許可するということにし

たいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員 許可)

それでは、傍聴を許可するということにいたします。

(傍聴者 入場)

これより臼杵市教育委員会、令和元年6月定例会を開催致します。本日の委員会の会期は、本日限りといたします。次に、会議録署名委員に、神田委員と安東委員の2名を指名致します。

今回の日程のうち、報告第9号の「専決処分の承認を求めることについて（教職員（小・中学校）の内申について）」と、第28号議案の「臼杵市教科書用図書選定委員会委員の委嘱又は任命について」を非公開としたいので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」に基づき、採決を行います。賛成の委員は挙手をお願いします。

(委員 挙手あり)

3分の2以上の挙手がありましたので、公開しないこととします。

## 2. 教育長報告

(教育長)

それでは、次第に沿って、2の教育長報告をいたしたいと思います。

1日 ・ふれあい学校

今年度からは土曜日に限らず、開催するというので、1日以外に実施した学校もありました。

3日 ・黒島海開き

通常は1日ですが、土曜日ということで3日に開催されました。佐志生小4年生以上の12人でした。水温が22度ということで水の中は冷たかったです。驚いたのは女子が2人だけだったことです。

4日 ・中学校総体予選

この日は雨で、野球やテニス、陸上の一部は5日に実施しました。

8日 ・ナイターソフトボール大会開会式

9日 ・RADIO311「部屋で見つけた希望」

8日、9日に防災関係の演劇がありました。9日に行きました。東中と臼杵高校

の生徒も出演していました。9日は東中の生徒が出ていましたが、引きこもりをテーマにしたもので、教育委員会の共催という形で開催しました。感動的な内容でした。

11日 ・ 定例校長会

学校訪問のこともお話ししましたが、特に目標を明確に示すことの大切さについて、女子サッカーワールドカップの例を交えてお話ししました。2011年の震災があった年にワールドカップで優勝しましたが、その背景として、なでしこビジョンというのを作り、明確に目標を示していました。「2015年に世界ランク5位以内を目指して取り組もう、世界のなでしこになろう。」ということで、ひたむきさ、芯の強さ、明るさ、礼儀正しさの4つのことを選手に求めて育成していたということです。目標が明確になっていて、少し早く優勝することができ、目標設定が大切だということをお話しさせていただきました。ちょうど月末から、目標管理の校長面談があるので、そのようなことも含めてお話ししました。

13日 ・ 就学支援委員会

毎年ありますが、令和元年度の事業計画等についてお話ししました。

17日 ・ 幼児教育推進協議会

垂井委員にも参加していただき、第1回目の開催をしました。昨年、幼児教育の研修会に出席していただいた臼杵小学校の教諭と、今年研修に参加している、野津小学校の教諭に発表をしていただき、その後、今年度の取り組みについて意見交換をしました。保育園の方から「気になる子がいて、その子が小学校に上がったときに、幼稚園から小学校に話に行ってよいか。」という話をいただき、「是非お願いします。」という話をさせていただきました。それから、5歳児の交流会が年2回あり、今年も11月に開催予定ですが、「小学校も参加してもらえないか。」との意見もありましたので、そのような取り組みもしていきたいと思えます。

・ 新任（転任）教頭、新採用面談（～25日）

新任教頭5人、転任教頭3人、小学校新採用5人、中学校新採用3人、それぞれ面談をしました。お互いを知り合うということで毎年開催しているものです。

18日 ・ 6月定例会一般質問（～20日）

18日に、旧野津高校跡地について質問がありました。「野津高校跡地を野津地区の統合の小学校用地として建造すべきでないか」とのご質問でしたが、基本的に小中一体教育を続けているので、仮に野津中の小学校を統合する場合は中学校を併設する広い用地があるので、そちらを考えているということでお答えしました。

19日は、小中学校の長寿命化ということで、今年度また、個別施設の計画を作るようにしていますが、その取り組み状況とスケジュールということで質問を

いただきました。それと通学路の整備に関して、前回のブロック塀に加えて「老朽化の住宅も検討しては。」という質問をいただきました。あと、外国にルーツをもつ方の日本語指導の体制ということで、「日本語が上手でない人の指導体制について、日本語指導員の配置を。」というような質問でしたが、なかなかそこまでいかないで、支援員としての配置をさせていただきました。実際に中国語の支援員を配置して、今はしっかり日本語が話せるようになってきているということでお答えしました。そして、給食センターの調理業務の委託について、これまで教育委員の方に説明した経緯について詳しく説明させていただきました。また、LGBTの学校現場での取り組みについて質問をいただきました。まだ浸透していないため、もっと学校現場に周知していく必要があるということで述べさせていただきました。公立幼稚園に関して、臼杵幼稚園が今年度で閉園することについて、これまでの経緯と今の取り組みについて説明をさせていただきました。併せて野津幼稚園の今後についてということで、今入園希望者がいるため、今の状況ではすぐ廃園ということにはならないということで、今後しっかり先を見据えて検討していきたいということを述べさせていただきました。

22日 ・ 県民体育大会応援（～23日）

今年はラグビーのワールドカップがあり、前倒しで実施されています。今年は総合7位、B部2位ということでした。参加種目をもう少し増やさないと厳しいと感じました。

26日 ・ 県教育長要望書提出

27日 ・ 目標管理校長面談（～7月9日）

28日 ・ 校長会懇親会

併せて先月もお話ししました、全国教育長協議会の中での資料を配布していますが、「ICTを活用した遠隔協働学習の4年間の歩み」と埼玉県入間市の「子ども未来室事業」について少し説明をさせていただきたいと思います。

まず、富山県南砺市のICTの活用ということで、南砺市は人口51,029人に対して面積が668.64平方キロメートルと広大です。小中学校の人数を見ると、臼杵市よりも小さい学校もあります。小さい学校を抱えながら、広い土地の中でなかなか統合ができないとのことです。統廃合を行わない理由としては地理的な問題の他に、それぞれの地域が世界遺産や海外との交流など独自の文化や伝統を持っていて、学校がなくなると地域の活力が失われるということで統合していないということです。

それから、学力の状況についても、人数の少ない学校は、きめ細やかな授業ができ、学力も良いとのことです。小規模校、へき地校の抱える課題として、「人間関係が限定され、力関係がはっきりする」というものがあります。そのような課題を抱える中でICTの活用で取り組んできたということです。平成27年度～28年度は文部科学省の委託事業として

実施し、その後は市単独研究授業として取り組んでいるようです。成果としては、コミュニケーション能力が向上したり、学びが深まったりしたとのこと。今後の課題として、一番大きいのは、学校ごとに各教科の授業の進度を合わせることのように。臼杵も小さい学校があるので、こうしたICTを活用した授業は参考になると思い紹介させていただきました。

続いて、埼玉県入間市教育委員会の取り組みです。臼杵市が今から進めようとする、幼小、小中の連携について取り組みが進んでいるので紹介をさせていただきます。面積は、44.69平方キロメートルと臼杵の6分の1～7分の1程度の小さい市ですが、人口は148,297人と非常に人口密度が高いところです。その中に小学校が16校、中学校が11校ありますが、これを小中一貫校で整備していこうと進めているようです。自立を目指す取り組みについてしっかり考えているところが凄いところだと思います。前回もお話しましたが、小・中一環サポーターの配置や、乳幼児期に、狭山茶にちなんで、幼児の通級教室「茶おちゃお教室」というものを開いて、色々と支援をしているということです。

また、「子どもの支援」、「教師・保育士等の支援」、「子育て中の親の支援」という3つの支援を掲げています。子供の支援は、茶おちゃお教室、教師・保育士等の支援は、学級担任・通級担当者等への巡回支援、子育て中の親の支援は、誕生から学校、就労までの記録が取れる育ちの記録シート「おちゃめ」というものを配布したりしているようです。成果として、教師の特別支援教育に対する理解や、保護者や地域の特別支援教育に対する理解が進んだとのこと。こういった理解がないとなかなか支援が難しいという現状なので、このような取り組みは臼杵市にとって非常に参考になると思いました。

以上で説明を終わります。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

### 3. 協議事項

(教育長)

これより「次第3. の協議事項」に入りますが、「報告第9号」に入る前に、傍聴者の退場を命じます。

(傍聴者 退場)

それでは、次の「第25号議案」に入る前に、傍聴者の入場を許可します。

(傍聴者 入場)

それでは、第25号議案の「臼杵市図書館協議会委員の任命について」と、第26号議案「うすき読書のまちづくり推進委員の変更について」は、関連がありますので、一括して説明をします。

(社会教育課長)

第25号議案、第26号議案続けて説明いたします。

第25号議案 臼杵市図書館協議会委員の任命について

臼杵市教育長に対する事務委任規則(平成17年臼杵市教育委員会規則第6号)第1条第13号の規定に基づき議決を求めるものです。理由としては、臼杵市PTA連合会推薦による委員が辞職し、新たに同会より委員の推薦を得られたため任命するものです。今度推薦の委員は、「足立 和俊さん」36歳男性で、臼杵市PTA連合会からの推薦です。任期については、令和元年7月1日～令和3年4月30日です。

第26号議案 令和元年度うすき読書のまちづくり推進委員の変更について

令和元年度うすき読書のまちづくり推進委員の変更について、下記のとおり専決処分をしたので、臼杵市教育長に対する事務委任規則(平成17年臼杵市教育委員会規則第6号)第2条の規定に基づき報告し承認を求めるものです。理由としては、臼杵市PTA連合会推薦による委員が辞職したことに伴う委員変更を行ったためです。変更の期日は、令和元年7月1日です。「足立 和俊さん」に変更となっています。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

(教育長)

第25号議案、第26号議案 については、承認してよろしいでしょうか。

(委員承認)

(教育長)

次に、第27号議案「国史跡下藤キリシタン墓地保存活用計画策定委員会設置要綱の制定」について説明します。

(文化・文化財課長)

第27号議案 国史跡下藤キリシタン墓地保存活用計画策定委員会設置要綱の制定について

臼杵市教育長に対する事務委任規則（平成17年臼杵市教育委員会規則第6号）第1条第16号の規定に基づき議決を求めるものです。理由としては、国史跡下藤地区キリシタン墓地保存活用計画策定にあたっては、専門研究者の意見・指導により進める必要があるため、保存活用計画策定委員会を設置するにあたり、要綱を制定するためです。要綱には、保存計画策定を行うために委員会を設置、所掌事務、組織、委員長及び副委員長、会議、報酬等をそれぞれ定めています。委員会は10名以内としており、任期は2年間としています。保存活用計画には、名称、所在地はもとより、保存の現状と課題、活用の現状と課題、保存管理に関する事項、環境保全に関する事項等を盛り込んだ計画書となります。この工事が令和元年7月1日から施工するとしています。

（教育長）

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

（意見なし）

（教育長）

第27号議案については、承認してよろしいでしょうか。

（委員承認）

次に、「第28号議案」に入りますが、その前に傍聴者の退場を命じます。

（傍聴者 退場）

それでは、「4. 学力向上」に入る前に、傍聴者の入場を許可します。

（傍聴者 入場）

#### 4. 学力向上について

（教育長）

続きまして、「4. 学力向上」に移ります。まず、「臼杵市幼保小連携推進コーディネーターの取り組みについて」説明をします。

（学校教育課長）

臼杵市幼保小連携推進コーディネーターの実践報告についてです。昨年度幼児教育施設に派遣され、今年度臼杵小に勤務している教諭の実践報告です。6月13日、1年生国語の

「くちばし」という題材で提案授業をしていただきました。幼児教育施設で学んだスタートカリキュラムの実践ということで、具体的には、「文の組み立てを視覚に訴える。色でわかりやすく伝えたり、教科書の中の確認すべきことやモデル等を実際に示して、モデルを確認しながらノートに書く。」等の実践でスタートカリキュラムの実際を示していただいた提案授業となりました。参考ですが、その授業における事後研究会の写真を資料に載せています。小学校の教諭に加えて、幼稚園の先生等、当日25名の参加があり、活発な意見交換が行われ、参加者の振り返りについても好評の意見が出ています。そして、スタートカリキュラムにおいては、環境構成が大切という教諭の話もあり、その実践例を資料に示しています。以上報告です。

(教育長)

報告が終わりました。続けて、「幼児教育施設派遣研修での学びについて」説明をします。

(学校教育課長)

今年度、幼児教育施設派遣研修に取り組んでいる野津小の教諭が、日々の取り組みをお便りにして、各学校等に配布しているものを委員さん方に資料として配っています。既に何枚も発行していただいておりますが、NO. 3で、「しらしんけん遊ぶ中で多くの学びをしてほしい。」という願いのもと、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を具現化させるということで、「健康な心と体、自立心」を、遊びや狙いに沿った日々の活動の中で育んでいこうとする取り組みを実際に行っていたり、そのことを各学校に啓発する取り組みをしてくれています。具体的な姿としては、NO. 6に砂場で思いっきり遊んでいる姿の写真が載っています。こういった、我を忘れてしらしんけん遊ぶ姿から自信とか意欲、思いやり、自尊感情等々、10の姿を身に着けていってほしいという思いで紹介させていただきました。なお、8月21日に、幼児教育の研修会を行うようにしていますので、ご都合がつけば委員さん方もご参加ください。

(教育長)

説明が終わりました。これは幼児教育推進協議会の中でもそれぞれ先生から報告いただいた事項になります。質疑等がありましたらお願いします。

(垂井委員)

先程、教育長が学校訪問においてそれぞれの学校で目標を明確に示すというようなことを校長会でお願いしたということでしたが、目標を明確に示すというのは教育の中でとても大事なことだと思います。しらしんけん遊ぶ姿、白杵子育ての羅針盤ということですが、その周知徹底を図るということで、乳幼児教育に関わる人たちが集まって、去年何回か開催されましたが、その中で本当に色々な意見が出ました。幼稚園、保育所、小学校の連携を深



めていくことが何よりも大事だと、そして気になることも、良いことも事実を話そうという感じができたと思います。その中で先日1回目だと思いますが、ある人の発言の中で、去年色々な保育所、幼稚園に関わる中で、園児というのはこういう姿に喜び、こういう姿にちょっと不安を抱いたりするというのが、実体験に基づいた話の中で十分わかりました。その方は今1年生の担任をしています、街で話を聞くと、幼稚園の時によく来てくれていた先生が学校に行ってみたら担任だったという親への安心。それから、先生も幼稚園の姿を見ているから先生も安心。ということと、何よりも子供たちが「先生は小学校の先生になったん？幼稚園の先生じゃなかったん？」とそのようなことを言うというのは、まさに臼杵子育ての羅針盤が願う10の姿ができて、子供たちも楽しくて、その結果「今年の1年生は落ち着いている。」との声も聞かれました。幼保連携、幼小連携、そして受け入れる小学校での共通理解というのもある意味1つの目標であり、1つの成果、もちろん課題もあると思いますが、課題以上にその成果を共有しあいながら、就学前の姿、自信をもって1年生になっていくという姿が見られたら良いと思います。先程教育長も言いましたが、「小学校に入って2か月が過ぎて、こんな姿が出始めた。という報告を聞くたびにいたたまれない気持ちになりますが、そのようなことを言ってもよいのでしょうか。」という保育園の先生がいましたが、「なんでも言ってください。全ては子供たちのためですから。」とお互いに言い合う雰囲気もいいなと感じました。

それと、幼児教育施設派遣研修に取り組んでいる野津小の教諭についてですが、「幼稚園に行ってみて、幼稚園の先生はこれだけ真剣に教材を揃えたり、一生懸命してくれているというのが実感としてわかりました。小学校になると、きちんと椅子に座って授業を受けてという姿を要求しますが、幼稚園の時はこんなのにびのび色々なことをする中で自由な発想が生まれる。その延長線上に1年生の1学期があると捉えて、子供たちを励ます、認める、褒めるそのような形で学校教育に馴染ませていくのがよいということを感じました。」という言葉もありました。目標を明確にしていくことと、できたら喜び合う、そして受け入れる側は幼稚園の先生と連絡を取り合う等、気付いて、繋がりあって、伝えあって、喜び合っているということが幼児教育に関してできている。幼児教育に関してできているということは、今度は小学校と中学校の連携についてもさらに深められていくということに期待をしています。

(安東委員)

幼小の連携ということで、羅針盤を読み込みましたが、羅針盤の次は何なのかと考えたときに、幼で言うと、アプローチカリキュラム、小で言うと、スタートプログラムのすり合わせが必要だと思いました。10の姿を意識しながらということで、臼杵は小中学校18校ですが、18の姿を意識しながらどう幼稚園、保育園、それから認定こども園と小学校のスタートのラインでスムーズな接続ができるか。出来たら臼杵市のマニュアルを作れたらよいかなと思います。文部科学省の指針は、「10は目標ではありません、評価の指標でもありま

せん。」とずっと書いていますが揃えられるところは、「課題は赤、まとめは青」のように揃える、白杵としてスムーズな接続に向けて次の一手はここだと思います。先程話のあった先生たちも、そこを掴んで動かれているというのがこの紙面で読み取れるので、方向性としてはすごく良い方向に進んでいると思います。支援をしていただいて、組織として広げていく取り組みをすることが、私は必要だと思いますので進めていただければありがたいと思います。

(教育長)

ありがとうございました。

## 5. 教育予算等について

(教育長)

委員の皆様から、教育予算に関して何か要望等ございませんか。

(垂井委員)

エアコンはもう全部整備されましたか。

(教育次長兼教育総務課長)

エアコンの件については、実質設備は整っていますが、完了検査に日数がかかるということで、7月に稼働がずれ込む想定をしていました。しかし、契約検査課に完了検査を急いでもらうように依頼をして、今週から全ての小学校で稼働できる状況になりました。

## 6. その他

(教育長)

続きまして、「6. その他」に移ります。「学校施設内全面禁煙について」を教育総務課より説明します。

(教育次長兼教育総務課長)

健康増進法の一部を改正する法律が7月1日から施行されることとなっています。受動喫煙対策をこれまで以上に進めるということがこの改正法の趣旨となります。この改正法の仕組みとしては、施設を第一種施設と第二種施設と大きく2つに分けています。学校は、第一種施設に該当し、敷地内全面禁煙の取り扱いとなっています。これについては、先般行われた校長会で、健康増進法の改正の趣旨等を十分お知らせしています。先生方は意識がありますが、今後の課題としては、学校美化活動やイベント等で来校される保護者等の対応です。保護者については、まだまだ十分に周知されている状況とは言えないので、教育委員会としては、敷地内全面禁煙の看板を用意し学校長に配って、主に保護者等に看板をお見せし

ながら意識の改革に努めていただくよう校長会で指示したところです。

(教育長)

説明が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(渡辺委員)

一番心配なのは運動会です。その時も学校毎に呼びかけをするのですか。教育委員会から文書を出すことはしますか。

(教育次長兼教育総務課長)

基本的には、学校長がPTAや保護者の集まり等、その都度ごとに説明をし、意識を持ってもらうということでお願いしています。

(渡辺委員)

大抵の会は限られた時間で、あまり吸う人はいないと思いますが、運動会は1日中なので、そこが1番心配なところだと思います。

(教育次長兼教育総務課長)

それと今、地域振興協議会の活動が活発になっていて、学校施設の利用が増えているのでそういったところも課題であると思います。地域振興協議会を主催している、協働まちづくりとも連携しながら取り組みたいと思います。

(神田委員)

運動会等は、車で窓を開けて吸っている保護者もいるので、具体例を書いて注意したほうがよいのかなと思います。

(教育長)

次に「中体連市総体予選結果について」と「大分県民体育大会の結果について」を社会教育課より説明します。

(社会教育課長)

中体連市総体予選結果について

団体の部では軟式野球、陸上、バレー、バスケットボール等々がありますが、多くの競技で西中学校が1位という結果になっています。学校別得点集計表では西中が合計得点103点で2位の東中に大きく差をつけて勝っています。今年度は4日に雨が降り、一部の競技が5日に変更となりましたが、次も選手、生徒の飛躍に期待したいと思います。

大分県民体育大会の結果について

今年度、ラグビーワールドカップの関係で6月に前倒しで競技が行われました。臼杵市は総合で225点、順位で7位という結果になっています。去年は9位だったので、2つ順位を上げています。しかし、一昨年は7位だったので、今年は順位を戻したというような形になっています。昨年については、県南ブロックでの開催で大雨が降り、団体競技系のほとんどが中止になったり、1回戦のみということになり、得点の取れる計算の団体競技が、他のチームと得点を割る形になり、点が伸びなかったということがあります。今年度は、天気が良く、多くの競技で入賞しています。まず、テニスが総合優勝しています。2位がラグビー、女子ソフト、アーチェリー、3位がバドミントン、剣道、山岳、ゴルフと非常に多くの種目で選手、監督の頑張りにより入賞できています。6位が宇佐市であと4点差です。団体競技は参加点がありますが、全部の競技が参加できなかった部分があるので、来年は少しでも参加競技を増やせたらと思っています。

(教育長)

報告が終わりました。質疑等がありましたらお願いします。

(意見なし)

その他、これ以外で意見等ありましたらお願いします。

(安東委員)

先週、岡山県から西中学校に1週間、研修の先生がお見えになっていたとのことですが、どんな様子だったかをわかれば教えてください。

(学校教育課長)

岡山の教育センターの方が1週間お見えになりました。県への要望があつて、その中で県の方が臼杵市西中を推薦したという形での研修でした。1週間泊まり込みで朝から夕方まで授業観察をしたり、授業を手伝ったりしながらの研修で、西中学校の取り組みを肌で学んでもらおうというものでした。最後に私もその方とお話をさせていただきましたが、「大変有意義な1週間で勉強になった。」ということで満足して帰っていただけたものと思っています。

(安東委員)

ありがとうございます。なぜ聞いたかということ、1日(月)に県議会の文教警察委員会が見学に入るといふことで、学校現場は大変ですが、県が方向性をもって臼杵に来るといふのはある意味チャンスであり名誉なこと、是非学校現場の先生方のサポートもお願いした

いということです。県ではいよいよ来年度事業の予算の検討に入っていくわけで、その辺のアンテナを高くもって、県の施策を先取りしながらやっていくのが重要かと思います。今、3つの提言推進重点項目で、学力向上支援教員習熟度別指導推進教諭3名が配員になっています。県は3年したらスクラップアンドビルドで、間違いなく来年度3提言はなくなって、そのあとの事業化をするだろうと思っています。今、臼杵の中学校の学力の下支えはこの3名でやっていただいていると思っているので、できれば来年度の新規事業も臼杵を取っていただけるような取り組みも含めて、その延長線上にこの2つの取り組みがあるのかなと思っています。おそらく今、県は岐阜県のシステムを入れようとして、岐阜県を目標にしているので、これは想像ですが、岐阜をイメージした研修項目を次の一手として打ってくるのではないかと考えたときに、この2つの取り組みはとても重要であると思っています。

(教育長)

これもちまして、6月定例教育委員会を閉会します。

会議録署名委員

---

会議録署名委員

---

会議録作成者

---